#### 薩摩半島中央部における

## 計画名称

地域間・地域内の交通連携の充実・強化による安全・安心で魅力ある都市環境づくり(防災・安全) 【事業主体】鹿児島県、鹿児島市、いちき串木野市、土島村

単位: 笛所

## 計画の目標・計画期間

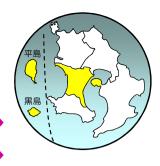
九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道へのアクセス及び都市間の交通連携の強化、都市部と空港・港湾・漁港等の物流拠点との有機的な連携、鹿児島市を中心とした広域的な都市機能の充実等を図るとともに、都市内の円滑な交通確保及び防災機能の強化により安全・安心で魅力ある都市環境を形成する。 [平成24年度(補正)~平成25年度(2箇年)]



法面危険箇所	"5箇所"	を修繕し危険箇所の対策が完了し

歩道 "約4.4km" が整備され歩行者等の安全性が向上した

>舗装 "約0.9km" が修繕され通行車両の走行性が改善された



#### 要素事業の進捗状況

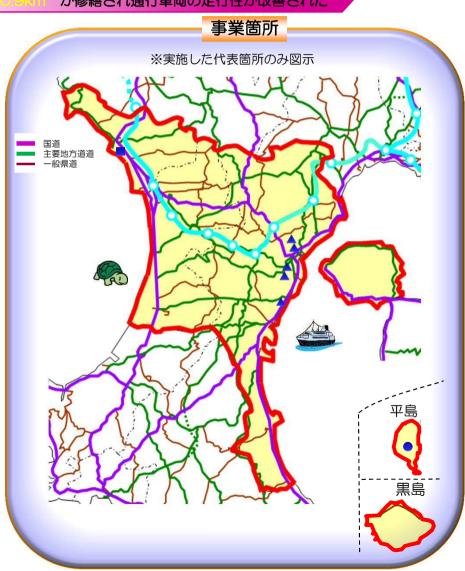
<del></del>										
	事業区分	区分	工種		計画	実施	完了 継続		備考	
Α:	: 基幹事業	市町村	災害防除(指標①)		1	1	1	_	法面対策	
			歩道整備(指標②)	<b>A</b>	5	5	3	2	歩道整備	
			舗装補修		1	1	_	1	舗装補修	
			道路改良	•	-	-	_	-	現道拡幅	
			その他	I	თ	თ	1	2	無電柱化,自転車道整備等	
B:	関連社会資本事業	市町村		l	1	1	_			
C:	効果促進事業	市町村	調査等	l	5	5	5	ı	路面性状調查,歩道橋点検等	

#### 目標達成状況

	計画の成果目標 道路防災点検等により抽出された対策箇所を5箇所(H25)解消する。								
指標①	定義及び算定式	義及び算定式 「対策箇所数」= 単年度ごとの対策箇所数の積上げ							
	達成状況	達成度 ⇒ 100%		当初現況値	最終値				
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			(H21)	(H25)				
	港と集落を結ぶ十島村道東海岸線を完了し、危険箇所の事前防災に寄与し通行車両の安全が 確保され、目標を達成できた。			_	5箇所				
	ENCTO BINCE		実績値	_	5箇所				
指標②	計画の成果目標 段差解消や拡幅等、歩道を7.4km (H25) 整備する。								
	定義及び算定式	■義及び算定式 「整備延長」= 単年度ごとの整備延長の積上げ							
	達成状況	達成度 ⇒ 60%		当初現況値	最終値				
	鹿児島市道中州通	り線ほか4路線の歩道整備を推進し、3路線事業完了したが、2路線にお	目標値	(H21)	(H25)				
	いて当初計画の整備目標を達成することができなかった。			_	7.4km				
			実績値	_	4.4km				

## 今後の方針

市道小松原山田線ほか4路線について、H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。



# 計画名称薩摩半島中央部における地域間・地域内の交通連携の充実・強化による安全・安心で魅力ある都市環境づくり(防災・安全) 【事業主体】鹿児島県、鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村



## 無電柱化 (無電柱化)

かごしま たけ (鹿児島市 武一丁目地区) 1級市道 平田橋武線



無電柱化により、安全な歩行空間の確保や災害時の安全対策、

(H26年度に抜柱、H27年度以降舗装の改良予定)

- ◆歩道における安全な歩行空間の確保
- ◆地震などの災害時における電柱の倒壊防止
- ◆良好な都市景観の形成

#### 修繕(舗装)

かわうち

くしきの かわうち

#### 1級市道 河内線(いちき串木野市河内地区)







## ★整備効果★

舗装のひび割れ等により、通行に支障があったが、 舗装を修繕し騒音・振動等が解消され、快適性や 安全性の確保が図れました。

- ◆スムーズな通行が可能となった
- ◆安全で快適な走行性の向上

#### 交通安全(歩道整備)

たまざとだんちちゅうおう かごしま たまざと 2級市道 玉里団地中央線 (鹿児島市 玉里地区)



歩道拡幅により錯綜がなく、すれ違いがスムーズ になり歩行者の安全が確保されました。

◆歩道のバリアフリー化

段差解消や防護柵設置により、歩きやすい歩道となり歩 行者が増え地域の活性化につながりました。

#### 災害防除(法面)

ひがしかいがん

としま たいらじま

その他村道 東海岸線 (十島村 平島地区)







#### ★整備効果★

地域住民等、通行者の事故防止のほか、落石事故や斜 面崩壊等の危険が解消され、安心安全な道路環境づくり が図られました。

- ◆歩行者、通行車両の事故防止
- ◆落石、斜面崩壊の危険性解消